出席停止になるのはこんなときです（学校感染症一覧表）

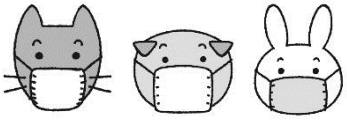
学校感染症と診断されたときは学校へ連絡をお願いします。

★第1種学校感染症　　治癒するまで出席停止。

エボラ出血熱、クリミアコンゴ出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、鳥インフルエンザ

★第2種学校感染症　　出席停止は感染症ごと。ただし、医師に感染の恐れがないと認められたときはこの限りではない。

病名	出席停止	主な症状	感染経路	潜伏期間	備考
インフルエンザ	発症後5日経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで	急な発熱、筋関節痛、頭痛、倦怠感、咳、鼻水、咽頭通	飛沫 接触	1-4日	合併症に肺炎、脳症、中耳炎、心筋炎、筋炎
百日咳 	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで	コンコンと連続して咳き込んだ後、笛を吹くような音を立てて急いで息を吸う特有の咳発作	飛沫 接触	7-10日	合併症に脳炎。咳が続く風邪と思われることも多い
麻疹（はしか）	解熱後3日経過するまで	発熱、咳、鼻水、結膜充血、頬の内側にコプリック班（白点）、一旦熱が下がりかけ、再発熱したしたときに発疹	飛沫 接触 空気	7-18日	感染力強い 合併症に肺炎、中耳炎、喉頭炎、脳炎
流行性耳下腺炎 （おたふく）	耳下腺・顎下腺又は舌下線の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで	耳下腺などの唾液腺の腫脹（腫れは2-3日でピークに達し、長くても10日間で消える）、圧通、嚥下痛	飛沫 接触	16-18日	合併症に無菌性髄膜炎、難聴、思春期以降では精巣炎や卵巣炎
風疹 （3日ばしか）	発疹が消失するまで	軽い発熱と同時に発疹、耳後部から頚部のリンパ節の腫脹と圧痛	飛沫 接触	16-18日	妊娠中の感染に注意
水痘（水ぼうそう）	全ての発疹が痂皮化するまで	紅班→丘疹→水疱→膿疱→かさぶた、発熱	空気.飛沫 接触	14-16日	水疱中に多量のウイルスが存在
咽頭結膜熱 （プール熱）	発熱・咽頭炎・結膜炎などの主要症状が消失した後2日を経過するまで	高熱、咽頭痛、頭痛、頚部・後頭部リンパ節腫脹・圧痛、結膜充血、流涙、まぶしがる、目やに	飛沫.接触 結膜接触	2-14日	医師の許可があるまでプール禁
結核	症状によって医師が判断	初期は自覚症状なし。咳、痰、微熱、倦怠感から始まり進行後に発熱、寝汗、血痰、呼吸困難	空気 （飛沫核）	2年以内	感染後数十年後に症状が出ることもある
髄膜炎菌性髄膜炎	医師において感染の恐れがないと認めるまで	発熱、頭痛、嘔吐	飛沫 接触	4日以内	乳幼児期や思春期に好発

第3種学校感染症　　医師によって感染の恐れがないと認められるまで出席停止。

流行性角結膜炎		 病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認めるまで 	結膜充血、まぶたの腫脹、流涙、違和感、めやに、耳前リンパ節腫脹	接触	2-14日	医師の許可があるまではプール禁
その他の感染症	ヘルパンギーナ		突然の発熱（39℃以上）、 咽頭痛・咽頭に赤い発疹→水疱→潰瘍	飛沫.接触. 経口	3－6日	春から夏に好発 代表的な夏風邪
	マイコプラズマ感染症		発熱、激しい乾咳、頭痛	飛沫 接触	2. 3週間	夏から秋に好発
	溶連菌感染症		高熱、咽頭痛、扁桃の腫れ・発赤、頚部リンパ節炎、いちご舌、とびひ症状	飛沫 接触	2－10日	腎炎の合併に注意 抗菌薬療法後24時間以内に感染力は消失する
	感染性胃腸炎 （ノロ、ロタ、アデノ）		発熱、腹痛、下痢、嘔吐、 便が白くなる（ロタ） 	経口.飛沫 接触 空気（ノロ）	12-48時間（ノロ） 1－3日（ロタ）	好発時期 ノロ：秋～冬 ロタ：冬～春 アデノ：年間通じて
	他に手足口病・RSウイルス感染症・伝染性紅班・EBウイルス感染症・A型肝炎・B型肝炎等					
アタマジラミ・伝染性軟属腫（水いぼ）・伝染性膿痂疹（とびひ）		登校しながらの治療が可能です	出席停止の必要はありませんが担任にはご連絡ください